事業紹介リーフレット

青春 アオハル！エコロジー・ラボ

～高校生による脱炭素アクションのための高大連携～

＜お問い合わせ先＞
アオハル！エコロジー・ラボ事務局
TEL/FAX:054-238-4862/4280
MAIL: ecolabo@shizuoka.ac.jp
[Instagram] https://www.instagram.com/ecolab.shizuoka/
[Home Page] https://ecolab-shizuoka.com/

企画概要

1 プロセス重視

2 高大連携

3 地域連携

- 気候危機やエネルギー問題に興味関心のある**高校生**が集まり、出会い、チームをつくり（学校ベースではなく個人ベース）
- **脱炭素につながるツール、仕組み、アクション、アプリ、グッズ、作品等を企画・制作**
- そのプロセスに**大学生がメンターとして伴走支援**し、**大学教員がアドバイザー**として参加 ⇒ 「バーチャル・ラボ」を形成
- 高校生チームは2回の**中間カンファレンス**で交流し、学び合い、サポータ（専門家や事業者など）からコメントを受け取る
- 高校生チームは**最終カンファレンス**で、自分たちの企画を発表。サポート企業等から支援が得られれば、実現への道がひらける！
- 上記のプロセスを随時SNSやYouTube等で情報発信
「いいね」をクリックすることによって、幅広い高校生・大学生・県民が**応援・評価**に参加

仲間と一緒に、脱炭素につながる楽しいアクション・仕組み・
ツール・アプリ・グッズ・映像などを企画しよう！

プログラムステップ

01
気候危機やエネルギー問題に興味関心のある高校生が集まり、出会い、チームをつくる。

02
高校生のチームに大学生がサポート役として加わり、大学教員が アドバイザーとして参加することで「バーチャル・ラボ」を形成。

（月に2回程度）

中間カンファレンス

03
各チームが約１年かけて、脱炭素につながる企画を考え、発表。

04
サポーター企業のオファーがあれば実現への道がひらけるかも…！

最終カンファレンス

ねらいと目的

●脱炭素を担う若手人財の育成
●高大連携活性化・県内進学

高校生

●アイデアや知的興味を深掘り
●様々な主体との協働体験
●大学進学へのモチベーションアップ
●AO・推薦入試でアピール

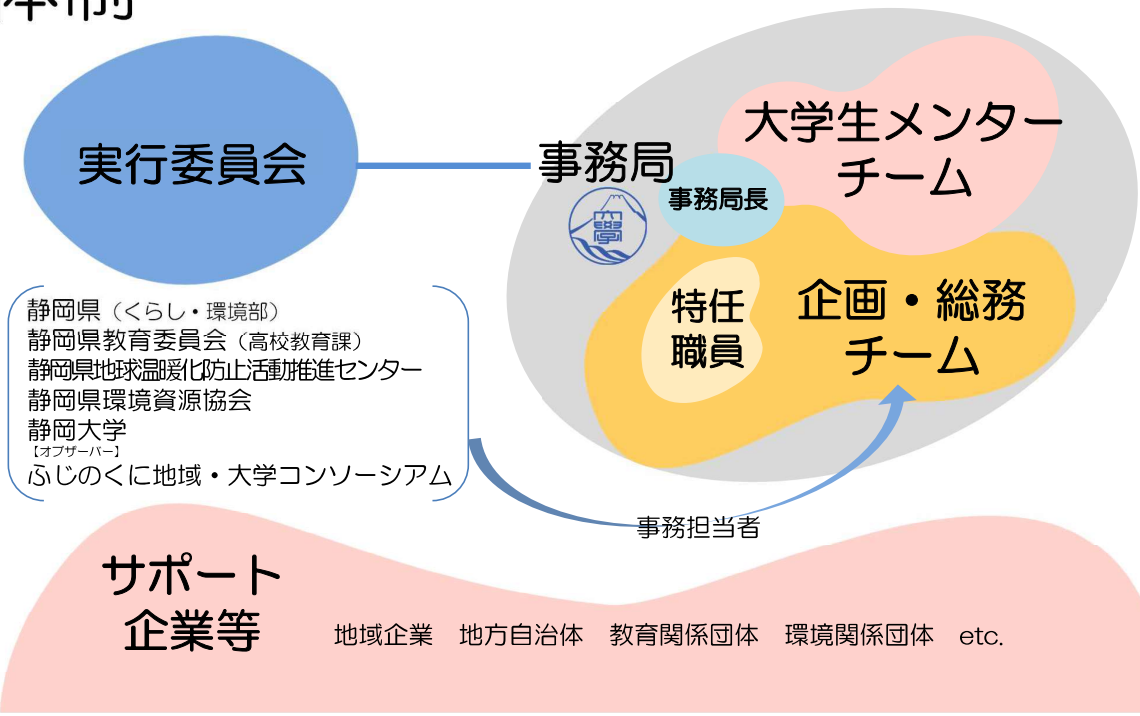
大学生

県知事から地球温暖化防止活動推進員に委嘱
●環境に関する学びを深められる
●社会的評価を受け自信創出
●就職活動の際に体験アピール

サポート企業等

●若者の認知度アップ
●優秀な人材の確保
●CSR・地域貢献

運営体制



各主体の役割

大学生メンター

高校生チームを伴走支援
SNS等で活動を発信
アドバイザーとの連絡調整

大学教員アドバイザー

高校生チームからのリクエストに応じてアドバイス
定期的にチームとのコミュニケーションも（任意）
カンファレンスに参加

サポート企業等

カンファレンスで高校生チームにコメント
最終カンファレンス後の企画の実現等をサポート
場合によっては外部アドバイザーの役割も

外部アドバイザー

教員アドバイザーではカバーしきれない分野や事項をアドバイス
ex. プランナー，クリエータ，起業家

深堀りするアイデアの例

仕組み/ルール

○ゴミ箱を素敵にラッピング～ゴミで苦しんでいる生態系を知ってほしい～

ゴミ箱を素敵にラッピング。ゴミ箱利用者に、生態系への影響や環境問題を意識させる。

https://sdgs.ac/team/165.html

○気候変動への適応を考えた校則～気候危機の中のブラック校則～

まだ気温が高くて暑いのにも関わらず、ブレザーを着用しなければならない不合理な「衣替え」ルール等気候変動の現実を踏まえていない校則を変えていく提案。

https://sdgs-awards.umedai.jp/library/2021/10/11/2020-middle-student-outstanding4/

○学校用品を先輩から後輩へ

学用品のリユースを提案。交換会の開催も。

https://morioka.keizai.biz/headline/3193/

アクティビティ

○気候マーチ・若者会議

Z世代の「NO！気候危機」というメッセージをマーチとして見える化。近隣高校や自治体と連携・協力しながら実施するプラットフォームとして「若者会議」を設置。

浜松開成館高校：https://www.kaiseikan.ed.jp/global/post_30350/

○海ゴミのアップサイクル

海浜・海中清掃で得たルアーやプラスチック、ガラスごみを利用し、アクセサリーにアップサイクル後、販売。

焼津中央高等学校：https://www.pref.shizuoka.jp/kodomokyoiku/school/kyoiku/1003777/1046580.html

グッズ/アイテム

○麦わらストロー

プラスチックストローとの代替品として使用

「静岡農業高校「SHIZUOKA STRAW PROJECT 」

https://www.shizuokabank.co.jp/pdf.php/4873/211104_NR.pdf

○お弁当のプラカップを野菜でつくろう

毎日昼食にお弁当を食べている高校生ならではの視点。

https://sdgs.ac/team/678.html

音楽/映像

○動画「私たちが行動する意味～私たちの未来は私たちで決める～**」**

様々な魅力的なアクティビティを見やすい啓発型の動画としてまとめている。

https://sdgs.ac/team/601.html

○楽曲「MOTTAINAI」

SNSを活用して世界に発信。「もったいないダンス」や「森をつくる太鼓」演奏も加えたミュージックビデオも作成。

https://sdgs-awards.umedai.jp/library/2023/04/25/2022-jury-special05/

スケジュール

4月下旬	募集開始，参加受付	高校生50人程度（個人参加が主，チーム参加もOK） ※高校の所在地は問わないが、静岡市内で開催されるイベントやカンファレンスに参加できることが条件
6/17・24 7/1・2 13：00～	キックオフ・イベント （4回に分けて分散開催）	チームビルディング・ワークショップ スタートアップ・レクチャー
7/29(土) 13：00～	中間カンファレンス①	テーマ＆ロードマップ発表 アドバイザー＆サポート企業等コメント
11/4(土) 13：00～	中間カンファレンス②	中間発表 アドバイザー＆サポート企業等コメント
3/16(土) 13：00～	最終カンファレンス	企画・制作を発表 サポート企業等による支援オファー